



テーマ1：学校の防犯対策について考える

～低学年・高学年どのように対策をしていますか

学校ごとに取り組んでいる防犯対策について意見交換しました。

校内の防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ネームホルダーによる保護者の識別 ・敷地内の学童による定時の見守り ・低学年の集団下校 ・校門の閉鎖 ・防犯カメラの設置 ・夜間施錠
防犯教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとのセーフティー教室 ・不審者侵入時の放送訓練 ・欠席児童の確認、連絡 ・不審者メールの配信 ・事件、事故のケーススタディ
防犯パトロール	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校長先生、副校長先生、教頭先生などを中心とした登下校時の防犯パトロール ・保護者による任意のタイミングでのパトロール、登下校時の見守り、挨拶運動 ・青少協主催のパトロール ・こども110番 ・犬の散歩時の見守り活動

防犯カメラや街灯の設置、街路樹の整備や歩道の整備、放課後子ども教室の開室の要望や、下校時の見守り体制への不安がありました。学校でも見守り活動の取り組みにどうしても限界がある中で、地域の方々も含めたコミュニティ形成が必要になるのではというお話になりました。



多摩市長

皆様からの声は多摩中央署や市役所の担当に、しっかり伝えておきます。財政的には予算の上で厳しいところもありますが、劣化しているところは早急に取り替えを検討していきたいと思います。

子どもは大人の想定を超えて動き出すことがあります。学校の先生や親たちが少々怒ってもへこたれないエネルギーは将来大人になって羽ばたく力となるもので大切にしたい。パトロールの目が光ることや防犯カメラも必要ですが、目を行き届かせるためには地域の中で顔の見える関係を作っていくことが不審者を遠ざける街になるのだと思います。

今、各学校がコミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働活動の体制を整えています。地域の力を借り、地域で子どもたちの安心安全を守る。そして顔の見える関係をしっかり作ることによって外部から入ってくる不審者を防ぐ街を作っていきたいなと思います。



千葉教育長

多摩市全ての学校に防犯カメラを複数設置しています。校門の常時閉門については、各学校、教職員が閉めに行くことの確認・徹底を図っているところです。また、来校者の方には名札を付けていただくことを徹底しております。

学校や通学路の樹木も危険個所については学校や教育委員会にご連絡いただければ、地域・保護者の合意形成をしていく中で伐採や手入れをすることが可能です。

全小・中学校でコミュニティ・スクールを導入しています。地域は屋根のない学校です。地域、保護者の方のお考えを踏まえて学校を経営していく、様々な計画を立てていくことを大事だと思っています。コロナ禍を経て今、学校には、支援していただいたり、学校の子どもたちが地域の役に立ったり、地域のために何か活動したいというような場をもう一度再構築していく、つなぎなおしの必要があるかなと思っています。

学校の教育課程も学校の中だけ、座学だけで学ぶということは少なくなってきました。地域へ出て、地域の課題について、自分たちはどう解決方法ができるだろうか？多摩市は以前からそのためにESDという教育にも取り組んでいます。それで、地域の安全、通学路の安全、そういうことをぜひ子どもたちにも声を上げてもらいたいなと考えています。

学校ではセーフティー教室を定例的に行なっております。保護者の方には積極的に参加していただき、お子さんとも共有をしていただければと思います。



テーマ2：家庭の防犯対策について考える

～ご家庭でできる性教育・自衛策・約束など、どのように対策をしていますか

各ご家庭での取り組みについて各校がアンケートで集めて発表しました。

性教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と家庭で性の話ができるようにしている ・男女の体の違い、心と体の性について話をしている ・プライベートゾーンについて話をしている ・命の大切さについて話をしている ・本や講座を利用している
自衛策	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪に対するケーススタディ（警視庁アプリ防犯アプリ Digi Policeなどを利用） ・子ども110番のお店や家がどこにあるか子どもと一緒に確認しながら歩く ・キッズケータイ、GPS、防犯ブザーを持たせ、実際に使えるように練習する ・周囲の環境保全、危険個所の共有、地域でのあいさつを積極的に行う
約束	<ul style="list-style-type: none"> ・いかのおすし ・外出時、留守番時、出先で迷子になったときのルールを決めている ・帰宅時間を決めている ・SNSルールを守って利用している ・嘘はつかない、隠し事をしない、挨拶は大きい声ではっきりと。

性教育について取り組んでいる方々がいらっしゃる一方で、イメージを持つ持たせることが難しく、家庭で話題にしづらいという意見がありました。



千葉教育長

ご家庭でのお子さんとのやり取りがベースになって早期発見や予防につながることを改めて感じました。

子ども達が不審な人を見かけてもすぐに伝わらないことがあります。「その日に言ってくれば、もっとパトロールを強化できた・場合によっては犯人を検挙できたかもしれない」というようなケースがあります。ちょっと心配だというようなことがあれば、早め早めに学校へお伝えください。

自画撮り被害など、子どもによっては恥ずかしいとか言いにくいということがあるかもしれません。けれども、少なくともご家庭の中では共有をしていただいて、必要があれば学校の担任や養護教諭に伝えていただければ秘密を守りながら、予防や抑止に向けた動きができます。

性に関わる場所では、養護教諭が中心となり保健だよりを定期的に出しています。これを一つのきっかけにさせていただいて、家庭で話題にいただければと思います。発達段階に応じて学校で指導している内容について知っていただき、家庭ではこういうことができるのか、さらに学校ではこういうことをやってもらいたい。そういうキャッチボールができればありがたいと思います。

また、家庭教育学級という保護者の子どもの理解につながる学びの機会を用意しています。これは順番に各学校でご活用いただいています。学校と相談して計画的に進めていただければ、そこに外部の講師の方を呼んで、保護者の方の勉強会も可能ですので、ご利用ください。



阿部市長

子どもを育てるといことは、やはり愛情がなければ育たないし、実はその愛があるからこそ、相手への思いやりが生まれます。生き物について一緒に学んだり、飼ったりすることで命について子どもと語ることもある意味、性教育の一環だと思います。

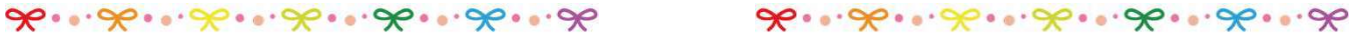
家庭でできること、親子で話ができることが、実は将来大人になった時に性犯罪を起こすのか起こさないのかという時に、抑えになることがあるかもしれません。




テーマ3 : 多摩市・近郊の防犯対策について考える

～多摩市としての対策・近郊の対策はどう思いますか

- ・必要な箇所については街灯や防犯カメラの増設、公園のトイレ・通学路の整備を求めたい。
- ・不審者情報をどう管理しているのか、また不審者情報のその後の対応を知りたい。通報を迷ったときに気軽に情報提供、共有できる仕組みがあれば、市内全体の防犯意識や防犯対策に役立つのではないかな？
- ・通学路のパトロール強化に関してシルバー人材センターの活用はどうだろうか？
- ・地域住民によるコミュニケーションの充実が防犯対策として重要だが、コロナ禍で人の見えない状況が続いている。この状況を打開するにはどうしたらよいか？また、見守り活動とはいえ、見知らぬ大人から急に声を掛けられるのは怖さを感じることもある。などの意見が各校から挙げられました。



阿部市長

道路交通課	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の損傷、あるいは不具合を見つけた時は、スマホで写真を撮り場所のコメントを添えて「道路通報システム」に投稿してください。道路交通課が対応します。 https://www.city.tama.lg.jp/cmsfiles/contents/0000015/15210/dourotsuho-1.pdf	
防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市では、防犯パトロール用品の貸し出しなど、防犯ボランティアによるパトロール活動を支援しています。 ・不審者情報をメール配信にて情報提供を実施しています。 ・教育委員会と連携を図り、引き続き防犯活動の推進を行います。 	
児童青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の取り組みについては、PTAの皆さんとも連携しながら進めていき、これからも継続していきます ・団地が多いエリアと戸建てが多い地域とでも問題は違ってくると思いますので、こども110番をどう有効に活用できるのか、皆さんと一緒に議論をしていければと思います。 	

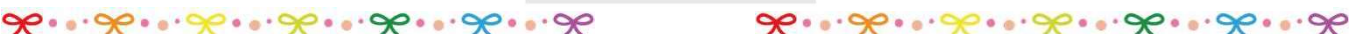
幹線道路の横断歩道の安全は学校支援課がシルバー人材センターに依頼をしています。ニュータウンエリアのように遊歩道で学校に通えるところでは交通事故は少ないが、不審者に関してはその逆です。どうしたら子どもたちの安心安全を守れるのか皆さんと議論をしていきたいと思っています。今日お声をいただいた中できちんと検討していくことはしっかりと全庁を挙げて取り組んでまいります。



鈴木教育部長

現時点で市内 87 ヶ所に防犯カメラを設置しています。市と教育委員会が危険だと思うところについては、現場を検証・確認したうえで防犯カメラを設置しました。樹木について、声が上がってきているところについては現場を確認した上で順次対応しています。通学路の見守りについても、人が立つ必要があるかどうかを検討したいと思うが、自治会などにも共有し、地域の人と協力いただくと、よいと思います。

通学路の安全点検の流れ



細谷教育部参事・教育指導課事務取扱

改めて PTA の方には本当にお世話になっているなということを感じた次第です。学校も行政としても応えていかなければいけないなという思いを強くしました。この 2、3 年、学校との対話が減っているのだろうなと思います。学校の先生は忙しくてという言葉も伺いますけれども、子どもたちのことや保護者にかかわること、それを差し置いて忙しいことは学校にはありません。必ず最優先で学校は対応しますので、ぜひ学校に声をかけてください。